

はじめに

著者	東 喜望, 飯田 泰三, 梅木 哲人, 我部 政男, 赤藤 了勇, 仲程 昌徳, 安江 孝司, 吉成 直樹
雑誌名	沖縄文化研究
巻	31
ページ	1-2
発行年	2004-08-10
URL	http://hdl.handle.net/10114/00015934

はじめに

中村哲先生が、昨年八月一〇日、享年九十一をもって永眠され、まもなく一年が過ぎようとしているところです。中村先生は、ご承知のとおり、法政大学沖縄文化研究所（以下、沖文研と略称）の生みの親（創設者）にして、初代所長を務められ、今日ある沖文研の礎を築かれた先達でございます。

巨星落つ！——偉大な方に逝かれ、私たちはいまなお呆然自失の体で、喪失感は薄らぎませんが、しかし、嘆き悲しんでばかりいるわけにも参りません。志を同じくし、後を継ぐ私たちは、先生から授かりし学芸を再確認し、新たな出発を二期しております。それが、先生のご意志を継承し、及ばずとも学恩に報いうる唯一の方途であり、向後の私たちの歩みでなければならぬと固く信ずるものです。

そのような思いから、今年度の沖縄文化研究所編『沖縄文化研究』三二号を、ここに「中村哲先生追悼記念特集号」として刊行いたすものでございます。

本書の内容を掻い摘まんでおきますと、次の通りであります。

巻頭に中村先生のお写真を飾り、さらに画家、歌人としても著名であられた先生でもございましたので、絵画につきましましては沖縄を描かれた油絵十一点と水彩画二点に掛軸一幅と色紙二点を、そして短歌につきましましてはお手製本として残されておりました先生自選の短歌抄を収録させていただきました。

次いで、目次に見られますように、先ずは先生のご論考（沖縄に関する論文二編並びに座談会一編と、その解題に見られる理由から再録いたしました戦後日本国憲法第九条にかかわる所論一編）と著作目録、及びご経歴を配しました。それから先生を偲ぶ文集（沖文研『所報』第五四号、二〇〇三年十月発行・所載）を再録し、最後に所員、研究員の手になる最近の調査報告、研究論文、エッセー（仲程、吉成・福、宮平、木津、比嘉の各ペーパーは新稿／飯田、

我部、東、梅木、安江のそれらはいずれも科学研究費補助金基盤研究（B）（2）〔課題番号…一三四一〇〇六〇／平成十三年度～平成十五年度〕研究成果報告書『琉球列島における社会的、文化的ネットワークの形成と変容に関する総合的研究』二〇〇四年三月発行。所載よりの転載またはその改定稿）をもって先生に捧げるものいたしました。

なお、本書編集に際しましては、先生の貴重なお写真、諸資料、絵画、短歌抄を快くお借し下さったご遺族に厚く御礼申し上げます。

最後に、この追悼号が、中村哲先生の深く大きな学恩に些かでも報いうる最初の一步となることを念願し、先生のご冥福をお祈り申し上げるとともに、各位からは冲文研への更なるご教導とご鞭撻を切に願ひ上げておきたいと存じます。

二〇〇四年七月二十三日

法政大学冲縄文化研究所「中村哲先生追悼記念特集号」編集委員会

東 喜望

飯田 泰三

梅木 哲人

我部 政男

赤藤 了勇

仲程 昌徳

安江 孝司

吉成 直樹